市立病院 リレーコラム 60

医療の現場から

尿の泡

泌尿器科　診療部長　松川　雅則

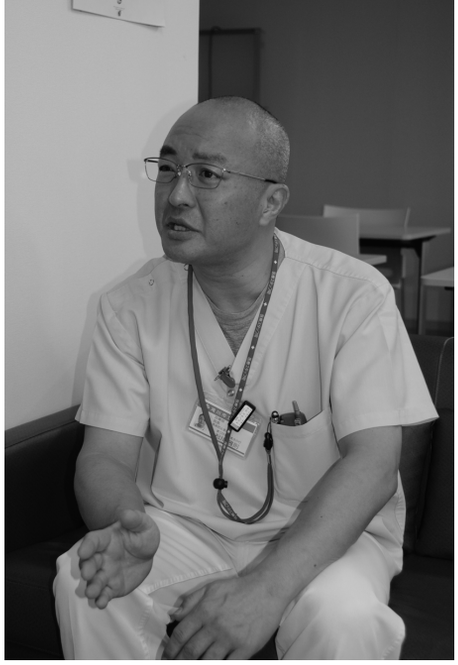
「尿をすると泡が出ますが、大丈夫でしょうか?」と心配して受診される方がおられます。以前よりもそのような方が増えた印象があります。もしかすると、最近ご覧になったテレビ番組の影響かもしれません。確かに、排尿後に洋式便器に泡が立つ事は私自身も経験があります。原因を考えてみますと、便器の水面に向かって勢い良く排尿すると、たくさんの空気が含まれて泡が出来ます。また、尿の中にはいろいろな物質が含まれており、それらの濃度が高まると尿の粘稠度(ねんちょうど＝粘っこさ)が増し、泡が出来やすくなります。

汗をかきやすい夏場や、乾燥で皮膚から水分が蒸発しやすい冬場は、尿量が減少することも多いでしょう。尿中に排せつされる老廃物など水以外の物質の量は大体同じですから、水分量が減った分、尿は濃くなって泡が出来やすくなります。つまり、ちょっとした体調の変化でも、尿をすると多少の泡は出来まるのです。ですから、泡が出来る方が全員、病気というわけではありません。実は、問題になるのは、この泡がなかなか消えずに残る場合の、一部の方なのです。

病的な原因のうち、頻度の高いものはタンパク尿か尿糖であると言われています。尿の泡が心配な場合は、掛かりつけの医師に相談してください。尿中のタンパク質や糖(グルコースとも言います)の量、尿潜血を調べてもらえます。その結果異常があれば、糖尿病の検査や治療を受けたり、腎臓内科や泌尿器科などの専門医に紹介されることになるでしょう。

テレビ番組などで、権威のある医師から心配な症状について説明されると、今まで気づかなかった、あるいは気にとめることもなかった尿の泡が気になりだすということがあるかもしれません。わずかな泡が立っただけでも、自分が病気なのではないかと不安にかられることもあるでしょう。この場合、泡が出来ることではなく、泡の性質や状態、その原因となる物質が問題です。尿中にタンパク質が多量に出てくる場合、糸球体腎炎など腎臓の病気の可能性があります。その腎臓の機能や働きの程度は、血液検査をしないと正確にはわかりません。腎臓の機能が極端に悪化した状態を腎不全と呼びますが、これは相当に進行しても、全く症状がない場合も多いのです。

尿の泡は、自分の体調を教えてくれる、体からの信号のようなものかもしれません。先ほど説明したように、尿に泡が出たら全て病気ということではないため、過度に恐れる必要はありません。すぐに消えていく泡のほとんどは問題ないでしょう。しかし、泡の異常は見ただけで判断するのは難しいので、普段から尿を観察して、以前よりも長い間泡が消えない、泡が細かくて多いなどの異常を感じたら、気軽に医師にご相談ください。



● 5 月の救急医療機関 ●

平　日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。

時間外夜間急病テレホンセンター
TEL22－2299

休　日

【内科・小児科】

診療時間　8時30分～翌日8時30分

市立病院
TEL22－4311（大町２－２）

【外　　科】

診療時間　8時30分～翌日8時30分

1日(日)　滝川脳神経外科
3日(火)　市立病院
4日(水)　滝川脳神経外科
5日(木)　市立病院
8日(日)　市立病院
15日(日)　滝川脳神経外科
22日(日)　市立病院
29日(日)　滝川脳神経外科

※市立病院
TEL22－4311（大町２－２）

※滝川脳神経外科
TEL22－0250（西町１－２）

【歯　　科】

診療時間　9時～ 12時

1日(日)　若葉台病院
TEL75－2266（江部乙町1452）
3日(火)　砂川ファミリー歯科
TEL54－2020（砂川市東１北３）
4日(水)　あさひ歯科クリニック
TEL22－0033（朝日町西１－６）
5日(木)　もじり歯科クリニック
TEL32－1181（赤平市茂尻本町３－２）
8日(日)　コスモデンタルクリニック
TEL23－3630（大町３－４）
15日(日)　とくだ歯科医院
TEL75－2056（江部乙町西12－５）
22日(日)　メープル歯科
TEL24－5800（東町５－８）
29日(日)　長谷川歯科医院
TEL32－3043（赤平市大町１－３）